

幼児児童の 楽しい水遊び

令和3年6月15日(火) フィットネスクラブターザン 他
令和3年6月22日(火) スイミングフィットネスフィットピア 他
令和3年6月24日(木) ABCスポーツクラブ 他
水遊び講師:各スイミングクラブインストラクター
救命救急講師:各所管の消防署救急救命士

「幼児や低学年の児童を対象とした水遊び」の楽しい実技 ～【実技】楽しい水遊び(水に慣れる遊び、浮く・もぐる遊び楽しい水遊び)を実際に体験～

令和3年6月15日(北部:フィットネスクラブターザン他)、6月22日(南部:スイミングクラブフィットピア他)、6月24日(中部:ABCスポーツクラブ他)にて、幼稚園、保育所、認定こども園等の指導者、小学校、特別支援学校の指導者、総合型地域スポーツクラブの指導者を対象に、地域の消防署の救命救急士、各スポーツクラブのインストラクターを講師として、幼児児童教育指導者の資質向上を図り、幼児児童の運動に親しむ習慣を身に付けさせることに資するため、「幼児児童の楽しい水遊び」を開催しました。3地域で、保育教諭、保育士等33名、小学校・特別支援学校の教諭・講師8名、総合型地域スポーツクラブの指導者2名、合計43名の参加がありました。受講者からは、「貴重な体験をすることができて、これからの実践に役立たせたいと思う。」と、大変有意義な講習会となりました。



スタジオで「水遊び」の講義、ターザンで



分かりやすい講師の説明、フィットピアで



水中でのボール遊び、ABCスポーツで

「学校での水難事故」を想定した救急救命士による丁寧な講義・演習

～【講義、演習】学校における事故等の現状とその対応、心肺蘇生法・AEDの使い方～



受講生によるデモンストレーション、「周囲の状況よし!大出血なし!」と大きな声で取り組みました(写真左)。都城市消防署救急救命士によるAEDの取扱いの説明、「慌てずに電極パッドを貼り付けます。」と丁寧な説明がありました(写真中央)。グループで、意見を出し合いながら胸骨圧迫の練習、「1, 2, 3, 4, 5…」と、手際よく、実りのある実習ができました(写真右)

編集後記

- ①低学年の水遊びは、「水の中を移動する運動遊び」及び「もぐる・浮く運動遊び」で構成されています。
- ②水につかって歩いたり走ったり、水にもぐったり浮いたりする楽しさに触れることができる運動遊びです。
- ③水遊びの楽しさに触れ、その行き方を知るとともに、水慣れを通して不安感を取り除き、水の心地よさを味わうことからはじめ、水の中を移動すること、もぐる・浮くことなど基本的な動きを身に付けるようにし、中学年の水泳運動の学習につなげていくことが求められます。

担当の目

みなさんが、生き生きと楽しそうに参加をしていました。先生方が、幼児児童の視点に立って、講習を受講していたことが印象的でした。子どもが水遊びを楽しく、かつ、安全に授業を行う工夫や仕掛けは何かをみんなで考える機会となった。幼児児童が家庭でも楽しい水遊びを行うように働きかけていきたい。